

ランドマーク 狂言

みなとみらいで
まなぶ
楽しむ

太郎冠者
野村拳之介



山伏
野村万蔵



かぎゅう

「蝸牛」

出演：野村万蔵 ほか
ミニレクチャー／野村万之丞

主
河野佑紀



一流の演者を迎えて、伝統芸能の魅力に迫ります。

令和6年5月16日(木)
ランドマークホール
(ランドマークプラザ5F)

19:00開演

18:30開場／20:00頃終演予定

初心者にもわかりやすいレクチャー付き。

入場料：前売 2,000円／当日 2,500円(全席自由)＊「みなとみらい市民証」提示で1ドリンクサービス
チケット発売：令和6年3月25日(月)12:00より
お申込み：TEL 0120-240-540(カンフェティ／平日10:00～18:00) WEB <https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>
お問合せ：OTABISHO 横浜能楽堂 TEL 045-263-3055 主催：横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)



ランドマーク狂言 「蝸牛」

狂言は、歌舞伎や文楽よりも古く、600年以上前から一緒に演じられてきた日本の伝統芸能のひとつ。こっけいなセリフとしぐさが特徴で、中世庶民の日常を綴った物語のなかに、現代にも通じる人間の普遍的な姿が描かれています。今回の公演では、狂言や上演演目の見どころについて、最初に狂言師が実演付きでわかりやすく解説。鑑賞も含めて全体で1時間程度と、お仕事帰りでも気軽にお立ち寄りいただける内容となっています。出演は、300年以上続く狂言の名門・野村万蔵家。「でんでんむしむし」の謡が楽しい、人気曲「蝸牛」をお送りします。

ミニレクチャー／野村万之丞

狂言 蝸牛（和泉流）

シテ（山伏）	野村 万蔵
アド（主）	河野 佑紀
小アド（太郎冠者）	野村 拳之介

後見	野村 真之介
----	--------



野村万蔵

【のむら まんぞう】

300年以上続く狂言の名門、和泉流野村万蔵家の九代目当主。1965年生まれ。野村萬（人間国宝）の次男。父に師事。古典はもとより、新作狂言の創作、流派を越えた若手研鑽の会を立ち上げるなど、狂言の普及と発展に尽力。重要無形文化財総合認定保持者。

かぎゅう
狂言「蝸牛」について

主人に命じられて蝸牛をとりに出かけた太郎冠者。蝸牛（かたつむり）がどのようなものか知らず、竹やぶで寝ていた山伏を蝸牛だと思い込み…。「でんでんむしむし〜」の謡が楽しい一曲です。



野村万之丞

【のむら まんのじょう】

1996年生まれ。九世万蔵の長男。祖父の萬及び父に師事。3歳で初舞台。狂言の魅力を伝える様々な

活動のほか、NHK大河ドラマへの出演など、多方面で活躍中。

終演後に開催／参加型ロビートーク 「狂言ってこんなにオモシロイ！」

狂言を観た後、ドリンク片手にいろんな人と感想を話してみませんか。印象に残ったこと、よくわからなかったこと、何を言ってもOK。「むずかしい？」古典芸能が「おもしろい！」になる、自由な楽しみ方を見つけていきます。

時間：終演後20:00頃～30分程度 会場：ランドマークホール ロビー

ファシリテーター：横浜能楽堂プロデューサー

参加費：無料／参加者は1ドリンクサービス

定員：10名（先着順・定員になり次第締切）

参加方法：お申し込みは右記のQRコードから



横浜能楽堂について

JR桜木町駅から徒歩約15分の掃部山公園に隣接し、築約150年の能舞台を有する能・狂言の専用劇場。2026年6月まで、大規模改修により休館中。

休館中はランドマークプラザ5Fに「OTABISHO 横浜能楽堂」を開設。能・狂言に関する情報発信やミニ展示、グッズ販売、不定期でレクチャーやワークショップ等を行っています。



（画像上：横浜能楽堂 本舞台 下：OTABISHO 横浜能楽堂イメージ）

アクセス

〔電車利用〕

桜木町駅（JR・市営地下鉄）下車《動く歩道》利用で徒歩5分
みなとみらい駅（地下鉄 みなとみらい線）下車 徒歩3分

〔バス利用〕

美術の広場前（141系統）下車 徒歩3分



※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。※公演中止の場合に旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。